永海佐一郎 化学者。転変の後、教授に定着すると、青少年向けに次々著作、現役中に伝記が書かれた。

ながみさいちろう

帝国憲法発布 1889 = 島根県の隠岐島で、船乗りの子に生まれる。

大本教・・・1892 = 3歳：父が海で遭難し死去。

日清戦争始・1894 = 5歳：母は再婚するも、

子規句歌革新1898 = 9歳：継父も海で遭難し死去。

教科書疑獄・1902 = 13歳：松江中学校に入学するが、経済的に困難で、

日露戦争始・1904 = 14歳：中退し、

日露戦争終・1905 = 16歳：上京。東京高等工業学校の小使(見習職工)になり、英語の教師になると夜学に通ううち、

満鉄発足・・・1906 = 17歳：幸運にも、苦学して教授になりアメリカから帰国したばかりの加藤与五郎の助手に採用されると、

韓国反日暴動1907 = 18歳：俄然化学に興味を覚え、中等教員検定試験を受験、最初は失敗したが、

アライ 創刊・1908 = 19歳：見事に化学科に合格。

韓国併合・・・1910 = 21歳：身体を壊したため、紹介受けて、市立長岡商業学校教諭となると、

これも、情熱的にやりとげ、

明治天皇没・1912 = 23歳：

大正政変・・・1913 = 24歳：広く門戸を開いた東北帝大理科大学が発足すると、早速化学科に入学するが、数学・ドイツ語が分からないことに愕然とし、休学。働きながら、独逸語協会学校に通い、数学を独学した後、復学して、

民本主義・・・1916 = 27歳：

ロシア革命・1917 = 28歳：卒業。教師になろうとしたが、加藤の要請で、加藤が設立した私立中村理化学研究所に就職したところ、

本格政党内閣1918 = 29歳：閉鎖となったことを幸いに、東北帝大講師となり、総長小川正孝教授の助手をつとめ、

原敬首相暗殺 1921 = 32歳：

水平社結成・1922 = 33歳：助教に昇格し、小川の代講をつとめるが、小川が総長に専念せざるを得なくなると、

関東大震災・1923 = 34歳：後任助教が着任し、自分は東北帝大に付設された第九臨時教員養成所の講師を担当することになる。学位論文をまとめ始め、

治安維持法・1925 = 36歳：

円本時代始・1926 = 37歳：理学博士となり、東京高等工業学校教授に転任。最初の著書「高等教育・無機化学の基礎」を出版、

金融恐慌・・・1927 = 38歳：統括して、「中等教育・化学の真髄」、

共産党事件・1928 = 39歳：「小学校化学教材の根本知識及びその解説」を出版。

世界恐慌・・・1929 = 40歳：東京高等工業学校の昇格で、東京工業大学教授になり、恩師加藤に並ぶ。

満州事変・・・1931 = 42歳：友人から依頼されて、中等学校卒業生に化学の講義をし、大変面白がられたことから、

五一五事件・1932 = 43歳：講義を聞けなかった人のために、「化学の基礎」を出版。新定性分析法を創案し、学会誌に発表。

国際連盟脱退1933 = 44歳：加藤から中等学校教科書訂正版への協力を求められて、共著「化学の教育方針と基礎及び応用」、

帝人疑獄事件1934 = 45歳：「中等学校・化学教材の着眼点」、共著「推理・中等化学教科書」など、次々まとめる。

二二六事件・1936 = 47歳：「化学教育原論」「分析化学の研究」。

日中戦争始・1937 = 48歳：

健保+総動員 1938 = 49歳：「科学者のための推理独逸語講義」。

これらを通じて青少年の多くが受験その他で化学の勉強をし、

日米開戦・・・1941 = 52歳：「化学の発達史」。

・・・1942 = 53歳：この年、加藤与五郎「科学制覇への道」刊行。「高等教育・無機化学の基礎(続編)」

創価学会検挙1943 = 54歳：個人的体験に共感する人が多くなったことから、「大自然の力と私の反省(最強国となすの原理)」を著す。

敗戦・・・1945 = 56歳：

新憲法施行・1947 = 58歳：*まだ現役の教授ながら、早くも大館則貞が「永海佐一郎伝」を著し、

三大事件・・・1949 = 60歳：*定年退職すると、改題した「一化学者の生涯」が刊行される。他大学等へは行かず、故郷隠岐島に帰り、自宅に実験室を設けて研究を続け、

朝鮮戦争始・1950 = 61歳：それまでに執筆していた「永海式・新定性化学分析法」、

独立回復・・・1951 = 62歳：「化学の真髄と酸化及び還元反応」を出版。

メー-事件・1952 = 63歳：

安保闘争・・・1960 = 71歳：

たいたい病始・1961 = 72歳：

大阪万博・・・1970 = 81歳：

ド・ショック・・・1971 = 82歳：武田栄一と共著「化学の入門と原子核の化学」。

成田衝突・・・1978 = 89歳：_没した。

板倉聖宣「かわりだねの科学者たち」、